

○子ども教育学部子ども教育学科の三つのポリシー

アドミッション・ポリシー

子ども教育学部では、「心技一体」の建学の精神に則り、学生一人ひとりが人間としてよりよく生きること、子どもの成長に関わる楽しさや保育・教育の専門職としてのやりがいを追求することができるように支援する。

その上で、

1. 平和な心と豊かな人間性をもつ人材の育成を目指す。
2. 柔軟な思考力に基づく知識・技術と人権尊重を基盤にした実践能力のすぐれた人材の育成を目指す。
3. 時代の変化に合わせて、地域社会・国際社会に貢献できる心と技を備えた人材の育成を目指す。

そこで、以下の資質・能力を持った学生を求めている。

- ・ケアの精神と能力を有し、人を思いやり、人を愛する心のある人
- ・教育者、保育者としての高い資質を身につけ地域社会において活躍したい人
- ・自分の考えを積極的に表現し、他者とコミュニケーションをとり、協働して問題解決に取り組むことができる人
- ・ボランティアの精神を持ち、積極的に活動しようとする人

カリキュラム・ポリシー

本学の教育理念に基づき、高い教養と豊かな人間性をもった専門職を養成するため、教育課程を「基礎教養科目」「専門基礎科目」「専門発展科目」の3群で構成し、体系的な学修、専門的な技術の修得を図る。

1. 「基礎教養科目」は、人間力の育成を中心とした、大学での学びの基礎となる授業科目とする。
2. 「専門基礎科目」は、教育・保育を専門とする基礎的な知識や技能を修得する授業科目とする。
3. 「専門発展科目」は、教育・保育の高度な知識や技能を修得する授業科目とする。

とりわけ、ケアすることの重要性を教育・保育の専門性において学び、専門的資質や能力、実践力を養成する。さらに、特別な支援を必要とする子どもへの理解やかかわり方について学ぶ。

また、地域の小学校・幼稚園等や学内の保育施設、子育て支援拠点と連携して体験的な学びを展開し、理論と実践の往還による学修の深化を図る。

ディプロマ・ポリシー

子ども教育学部では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生は、卒業が認定される。

1. 平和を希求し、その教育に努め、幸せな人生を創造しようとする力
 2. 人間愛のもと、ケアすることの意義を教育・保育の専門性において学び、専門的な知識・技術との統合を図る力
 3. 修得した専門的な知識・技術を活用し、教育者・保育者として実践する力
 4. 教育者・保育者として、子どもの育ちや学びに関わる問題について時代の変化を見通して研究し、新たな価値の創造を図る力
- ・社会との連携を図り、人々の教育的・保育的ニーズや社会的ニーズに応えることができる力